

事業名	適応指導教室の運営事業	評価実施者	所 属	教育支援課
			職・氏名	課長 吉川 修

主要事業の概要	開始年度	H4	根拠法令等		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 特定財源 <input type="checkbox"/> 一般財源 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 負担金			
	目的	不登校児童・生徒の学校復帰を図るための指導と支援			
事業内容	①通級者に学習意欲や進路目標を持たせ、規則正しい生活習慣の定着と自信の回復を図る。 ②不登校など悩みや不安を抱えた子どもとその保護者との教育相談の実施。 ③指導員・SSWによる指導・相談と併せて学校訪問を行い、不登校の早期対応への行動連携を実施。				

事業費	区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	特記事項	
	事業費(千円)	5,300	5,800	8,300	8,300	8,300		H21から、指導員3人・SSW1人
	うち一般財源			4,450	7,440	7,880		

目標と実績	区分		単位	H19	H20	H21	H22	H23	実績の評価	
	1	不登校児童生徒数	人				ゼロ			○21年度が大幅増であったため、原因調査など学校と情報共有を深め減少できた。
			実績	人	45	42	52	46	—	
	2	通級教室からの学校完全復帰	目標	%				100		○不登校者の教室通級への通学者の減少。 ○学校完全復帰数には、相談室等も含む。
			実績	人	0/9	0/6	6/12	2/8		
3	通級教室からの一部復帰	目標							○一部復帰数は、行事・テストなど不定期。	
		実績	人	9/9	6/6	6/12	6/8			
4	学校訪問指導・支援の実施	目標							○指導員による定期訪問による情報共有。	
		実績	回			22	22			

評価項目	点数	判定及び説明・考察	
1 必要性	10	市民ニーズや社会情勢に適合しているか	■ 5 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1
		実施主体は適切か(民間、国・道が実施すべき事業ではないか)	■ 5 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1
不登校児童生徒の教育の場として、個別の教科指導や相談を通じて学校復帰ができるよう支援を行う。また保護者相談を学校と連携して行い、不登校の長期化への解消を図る。			
2 有効性	8	目的に照らして効果的な手法であるか	□ 5 ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1
		成果が十分に上がっているか	□ 5 ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1
指導する施設の事情から午前中指導となっているが、きめ細かな指導支援ができた。高校受験期の生徒が全員高校進学を果たした。			
3 効率性	4	費用と成果のバランスは適正か	□ 5 ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1
		運営費のうち人件費以外は、最小の経費で効果的に運営している。	
総合評価	合計 ↓	22 /25	ランク (A~E)
	100点換算	88 /100	A
事業の今後の方向性		24年8月に移転して、専用教室・相談室などを完備することから、課題となっている午後指導の拡大や情報ツールを活用した在宅指導など、個別の実態に応じたきめ細かな指導の充実を図る。 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 質的向上 <input type="checkbox"/> スピートアップ <input type="checkbox"/> 検証 <input type="checkbox"/> 現状維持	

【評価点数】

5 : 十分できている    4 : できている    3 : ほぼできている    2 : あまりできていない    1 : できていない

【総合評価ランク】

A : 86点以上    優れた取組が多く、十分に成果が上がっている  
 B : 71~85点    優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている  
 C : 56~70点    一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある  
 D : 41~55点    成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である  
 E : 40点以下    成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

◎外部評価委員の評価・意見等

評価項目	点数	判定					点検・評価に関するコメント	
1 必要性	10	①	■ 5 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1	・スクールカウンセラーを1校に1人配置してはどうか ・子どもが相談したい時にいつでもいるように ・心理学の専門家を使ってすることを考えてはどうか				
		②	■ 5 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1					
2 有効性	8	③	□ 5 ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1					
		④	□ 5 ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1					
3 効率性	4	⑤	□ 5 ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1					
合計		22 /25	100点換算	88 /100	ランク	A		